

# 白山市立明光小学校

## 建設概要

- 1 新校舎建設事業の主な経過
- 2 基本構想の概要
- 3 計画の概要
- 4 明光小学校の特徴
- 5 建設概要
- 6 建物面積概要
- 7 新校舎建設に関わる全体経費

## 1 新校舎建設事業の主な経過

平成17年	2月	1市2町5村が合併し白山市が誕生
平成17年	4月	市内小中学校の統廃合および改築整備計画を策定するため、白山市学校統合検討委員会を設置
平成17年	10月	学校統合検討委員会の検討の結果、市内5小中学校の統合、改築を進めることとし、統合（白嶺）小中学校・美川小学校・松南小学校・朝日小学校・美川中学校ののうち明光小学校を改築することが適当と市長に答申される
平成22年	9月	明光小学校建設基本構想検討委員会を設置し、新しい時代にふさわしいモデル校となるよう、機能面、環境面などについて意見を求める
平成23年	8月	明光小学校建設基本構想検討委員会が市長に答申書を提出
平成23年	11月	地権者との用地交渉開始
平成23年	12月	拡張用地の測量業務完了
平成24年	3月	基本設計業務完了
平成24年	6月	地権者と用地売買契約締結
平成25年	1月	実施設計業務完了
平成25年	3月	先行解体工事完了（第一体育館）
平成25年	6月	拡張造成、グラウンド整備工事完了 本体建設工事着工 地鎮祭、起工式
平成26年	6月	校舎棟（教室棟）完了
平成26年	8月	教室棟見学会
平成26年	9月	2学期より新校舎での学校生活スタート
平成27年	1月	プール工事着工
平成27年	2月	倉庫・車庫工事着工
平成27年	3月	外構工事着工
平成27年	6月	プール工事完了
平成27年	7月	校舎棟・屋内運動場完了 竣工式 倉庫・車庫工事完了
平成27年	8月	外構工事完了

## 2 基本構想の概要

- (1) 心豊かな人間の育成に貢献できる学校づくり
- ゆとりや潤いを感じられる空間づくり
    - ・内装等に柔らかく温かみを感じられる市内産杉材等の使用
    - ・高い天井や広い廊下・階段による、ゆとりのある空間を確保
  - 環境保全に配慮し、自然と親しむ空間づくり
    - ・自然採光、自然換気、通風などに配慮した明るく清々しい校舎の検討
    - ・環境教育教材として太陽光や風力、地中熱など自然エネルギーを活用したエコスクールの推進
    - ・雨水を貯蔵し中水として広い範囲での利活用を検討
    - ・地域の自然を生かしたビオトープや遊びの丘など、自然とのふれあいを促す空間の検討
- (2) 基礎及び基本の重視と個性教育の推進に貢献できる学校づくり
- 多様化する学習内容・学習形態に対応できる教室やオープンスペースの設置
    - ・必要に応じて間仕切りが移動できる空間づくり
  - 給食調理室との連携に配慮した異学年交流が可能な広さのランチルームの設置
    - ・多目的かつ多機能な空間として検討
  - 個性の啓発につながるスペースの設置
    - ・児童作品や地域にゆかりのある作品の展示スペース
- (3) 地域社会に開かれた新たな学習環境としての複合化した学校づくり
- 学校施設の一部を生涯学習施設として地域へ開放
    - ・ランチルーム、家庭科室、音楽室等
  - グラウンド、体育館の地域開放
    - ・夜間照明や外部トイレ、体育館に地域開放型玄関の設置
  - 子どもたちが集う広場のある学校
    - ・学校遊具の配置を検討
- (4) 地域のシンボルとして市民が誇れる学校づくり
- 地域のシンボルとなる学校づくり
    - ・周辺の景観等に調和し、地域に適した機能美をもった外観と時計台などの設置
    - ・地域の防災拠点としても機能する中低層の校舎を検討
  - 地域の人々から愛着を持たれる校舎
    - ・風と水をイメージし、地域の住民が愛着と誇りを持てる小学校らしいデザインを検討
- (5) 地域と連携する施設並びに歴史的な伝統及び校風を踏まえた学校づくり
- 地域で利用できる多目的スペースの設置
    - ・和室などを検討

○地域の自然、風土、歴史を基に学校と地域のつながりを深める

- ・地域の歴史、郷土資料コーナーの設置によるふるさと学習
- ・地域の人々との交流の場を検討

(6) 学校施設の建設に関連すること

○学校の配置、設備面

- ・敷地南側に南向きの新校舎、中央部に新体育館、北側にグラウンドを配置
- ・既設の第二体育館及び学童施設の有効利用を考慮した配置の検討
- ・教室棟のオープンスペースと低学年にデンの設置
- ・新体育館に据付ステージと大階段を利用した観覧席の設置
- ・職員室は児童の登下校、不審者の侵入監視及び対応ができる位置
- ・広さと高さを確保したゆとりある昇降口
- ・図書室に読み聞かせができる畳スペースの設置
- ・プールは低学年の児童が安全に遊泳できるように検討
- ・掲示スペースの確保
- ・明るくて清潔感のあるドライ式トイレの採用
- ・トイレは洋便器を基本とするが、和便器も設置
- ・教材などを十分に収納できるスペースの確保

○駐車場の確保

- ・全校行事や地域行事の際に対応できる駐車スペースの検討

○維持管理、メンテナンス面

- ・地域開放ゾーンはセキュリティを考慮し、シャッターなどで区分
- ・維持管理費の低コスト化、省エネルギーを考慮した施設の検討

○バリアフリー、ユニバーサルデザイン

- ・身体障害者、車椅子の使用を考慮したバリアフリー化を進め、エレベーターやスロープの設置
- ・維持管理費の低コスト化、省エネルギーを考慮した施設の検討
- ・階段の手摺りやストップタイルの設置
- ・オストメイト対応のトイレの設置

○災害時の安全対策

- ・鉄筋コンクリートの躯体で、耐震強度が十分に確保できる校舎
- ・地域の防災拠点として、備蓄スペースの確保など必要な機能の充実
- ・プールは災害時の防火用水として利用できるように検討
- ・防災上必要なバルコニーの設置

○学校の位置に関すること

- ・現在敷地北側を拡張し必要な面積を確保する

○その他

- ・スクールバス車庫の設置
- ・水はけの良いグラウンドの整備
- ・地域住民の利用も考慮したグラウンド整備を検討
- ・外構フェンス設置などによる安全対策

### 3 計画の概要

白山市は石川県加賀地方の中央部、金沢市の南西部に隣接し、霊峰白山を最高峰とした山々が連なる白山国立公園、県内最大の流域を誇る手取川を有し、雄大な日本海に面した山・川・海の自然に恵まれた都市です。

当計画は、白山市鶴来地域にある「明光小学校」の改築事業です。計画地は、既設校舎とグラウンド部分としているため、学校敷地の北側を拡張しグラウンド整備を先行します。既設校舎や第二体育館を使用しながら新校舎建設後に既設校舎の解体を行い、新体育館を建設する計画としています。

#### ○周辺と調和した学び舎

- ・隣接する住宅地に圧迫感を与えない2階建て校舎
- ・地域の歴史的、伝統的デザインの積極的採用
- ・周辺と調和する落ち着いた色彩

#### ○特徴ある学習空間

- ・中庭に面し、南面配置した明るく開放的な普通教室
- ・吹き抜けを持った明るく開放的な図書館を校舎中央に設置
- ・様々な学習形態に対応でき、児童が好きな場所を見つけ出せるオープンスペース

#### ○楽しく学校生活を過ごせる生活空間

- ・学校正面とグラウンドを結び、街道に沿って歩くように様々な空間が次々と展開する廊下「明光ストリート」
- ・前面に大きな掲示板やベンチを設置し、楽しく入りやすいトイレ
- ・異学年交流ができる2学年同時利用可能なランチルーム

#### ○安心、安全な環境

- ・職員室、校長室を前面に配置し、児童の安全を見守る環境
- ・避難を考慮して低学年教室は地面に接した階に配置、高学年教室には避難経路となるバルコニーを設置
- ・グラウンド、体育館から近い位置に保健室を配置

#### ○地域の拠点となる学校

- ・周辺地域を見渡せる展望塔
- ・地域の人が使いやすいように、グラウンドと体育館等の地域開放ゾーンの中央に駐車場を配置

## 4 明光小学校の特徴

学校にとって大切な学習、子どもたちにとって大切な楽しい通学、そして、近年の学校に大切な安全な学校生活の3つのテーマを意識して計画を進めました。

- 「採光」、「通風」などの条件を考え、子どもたちが快適に集中して学習できる環境づくり
- 建物にシンボル性を持たせ、校舎のいろいろな空間の中に自分の居場所を見つけ出せる学校
- 地域開放ゾーンを明確にした配置計画

### (1) 各室の特徴

---

#### ◆ 1階

1～3年生教室	全教室が南面に配置されており中庭に面しているため、明るく開放的で自然とつながり、学習環境として最適な空間です。中庭は低学年の安全な遊び場になります。各教室は地面に接しているため、緊急時の避難がスムーズです。
オープンスペース	グループ学習や学年集会など、多様な学習形態に対応できる空間です。間仕切りを開放することで教室と一体的な利用が可能です。
デン	子どもたちに合せた小さな空間。家にいるように遊んだり、友達とおしゃべりをして楽しい時間が過ごせる場所です。
図書館	校舎の中央に位置し、子どもたちが図書に気軽に接することができます。吹き抜けを持った明るく開放的な空間となっており、2階の廊下からも図書館の様子を見ることができます。また、図書館に隣接してメディアラウンジを設置し、調べ学習ができるようになっています。
和室	12畳の広さがあり、被服の授業やクラブ活動などに活用できます。また、茶道用の炉も利用できます。地域開放にも対応しています。
職員室	児童昇降口横に配置しています。登下校する児童を見守るとともに来校者も確認でき、学校の防犯性を高めます。また、床は二重床とし、将来のレイアウトや情報端末の変化に対応できます。
保健室	グラウンドを見渡せ、体育館にも近接しているため、児童の怪我等にもすぐに対応できます。万が一の事態に備え、救急車の駐車スペースを隣接す

る駐車場に確保しています。また、保健室に隣接して相談室を設け、児童の相談などに対応できます。

体 育 館                   ミニバスケットボールのコートを2面確保することができます。ステージ後方にはガラスブロックを設け、明るい体育館としています。

大 階 段                   式典や発表会での利用やスポーツの観覧席として使用できる空間。1階と2階のどちらからでもアクセスできます。

#### ◆2階

4～6年生教室           1～3年生教室と同様に全教室が南面に配置されており、明るく開放的で、学習環境として最適な空間です。天井には市産材の杉の垂木を採用し、やさしい、落ち着いた学習空間としています。各教室の外部には、避難経路となるバルコニーを設けています。

特別教室                   主に高学年が利用する特別教室は、4～6年生教室と同じフロアに配置し、児童の教室移動に配慮しています。

ランチルーム           2学年が同時に給食を食べることができる広さがあり、2面とハイサイドライトから採光が得られる明るい空間です。食事だけでなく、集会やイベントなど多目的に使用できます。また、家庭室に面しているため、調理学習も行うことができます。

#### ◆1・2階廊下

明光ストリート           学校正面とグラウンドを結び、新校舎・既存体育館・グラウンドを一体的につなげています。校舎棟は明光ストリートから枝状に配置し、平面計画がシンプルで分かりやすくなっています。図書館やラウンジ空間に面し、街道に沿って歩くように様々な空間が次々と展開します。掲示スペースを多く確保したことで児童が楽しみながら歩ける廊下となっています。

#### ◆塔屋

展 望 塔                   塔屋は学校横に流れる七ヶ用水の水門をモチーフとし、地域のシンボルとなるよう計画しています。山並みや街並み、自然環境など、周囲を360度見渡せます。

### (2) 地域利用について

---

学校と地域が一体となって児童を見守る上で、学校を地域に開くことが大切となります。そのため、地域の方々の利用に配慮した地域開放玄関を地域利用エリアに配置し、普通教室など非地域開放エリアと明確に区分することで、管理のしやすさに配慮しました。

### (3) バリアフリーについて

---

新校舎は、障害のある人や高齢者等が安全に利用できるよう配慮されています。

- ・エレベーター設置や床段差の解消
- ・階段部に手摺りと注意喚起表示ブロック、スロープの設置
- ・オストメイトに対応した多目的トイレの整備
- ・アプローチに誘導ブロックの設置
- ・車いす利用者及び妊婦向けの駐車スペースの設置

### (4) 仕上げに関する特徴

---

#### ■ 地域の歴史的・伝統的デザインを取り入れ、景観に調和した外装

周辺の景観に配慮し、瓦及び金属の屋根の色は周辺の住宅地で使用している瓦色に近似させ、外壁の色は落ち着いたある色彩としています。また、地域の歴史的・伝統的デザインを積極的に取り入れ、校舎正面には鶴来の町屋の木格子をモチーフとしたテラコッタルーバーを設置し、塔屋は七ヶ用水の水門をモチーフとしレンガ張りの外装としています。

#### ■ 木質系の内装

内部の仕上げを木質化することで、子どもたちの心理を落ち着かせる効果や、気持ちに「ゆとり」や「安らぎ」を与えます。

#### ■ 地元産材の活用

地元産業の活性化と地域に密着した施設づくりに貢献するため、各所に市内産・県内産の材料を使用しています。

##### ※主な材料

- ・内装杉材：白山市産 約19m<sup>3</sup>
- ・屋根瓦：小松瓦（防災仕様） 約3万5千枚

### (5) 安全計画に関する特徴

---

児童が安心して学校生活を送ることができるよう、安全に対する配慮を行っています。

職員室は、登下校する児童が見渡せる1階の児童昇降口に近接させ、日中の来校者を職員室横の来客玄関に限定することで不審者の侵入を防ぎます。また、グラウンド側・正面玄関側には防犯カメラを設置して、職員室から常時監視ができます。各教室やオープンスペースには内線電話を設け、不審者や侵入者をいち早く職員室へ通報することもできます。

2階建ての低層校舎とし、2階の普通教室にバルコニーを設けることで避難のしやすい施設となるよう計画しています。

地域の防災施設として地域住民の避難を想定した諸室の配置とし、構造的にも通常の建物に比べ1.25倍の耐震性が確保されるよう、安全性の向上を図っています。

## (6) 環境に関する特徴

---

### エコスクールの取り組み

- ・太陽光発電型：10kW
- ・省エネルギー、省資源型：複層ガラスの採用、LED照明の採用ほか
- ・自然共生型：ビオトープを設置し、生物の生息環境を確保
- ・木材利用型：市内産の杉材を使用し、温かみのある内装
- ・自然採光、通気：普通教室を全て南面配置
- ・軒の深い庇やバルコニーを設置：夏季は直射日光を遮り、冬季は雪囲いとして機能
- ・既存樹木の保存、移植
- ・クールヒートトレンチ：床下ピットから空気を取り入れ、地中熱を利用し換気する

## (7) 設備計画の特徴

---

多種多様な使用形態に柔軟に対応する学校として、安全性・機能性・経済性・耐久性・清潔性はもちろんのこと、省エネルギーや環境にも充分配慮した設備計画としています。

### ■ 環境への配慮を取り入れた設備

#### ・太陽光発電システム

主に教育の一環として設置しています。発生した電力を一般電源の補助電源として活用し、自然エネルギーによる省エネルギー化を図り、発電状況を計測したデータは、廊下の液晶パネルにリアルタイムで表示しています。

#### ・クリーンエネルギーの利用、夜間電力の利用

周辺環境の保全はもとより、防災施設として災害時における復旧の早さや建物に対する安全性などを考慮して、電化による施設づくりを行っています。

ランニングコストを抑えるため、夜間電力による蓄熱式電気暖房を採用しています。図書館には蓄熱式電気床暖房も採用しています。

### ■ 情報教育に対応した設備

#### ・情報通信網設備

アクセス速度・セキュリティ等を考慮し、有線LANを主に採用しているほか、教室棟オープンスペースについては、アクセスポイントを設置して無線LANにも対応しています。

#### ・映像設備

授業形態に応じ、教室には液晶テレビ、パソコン室には液晶プロジェクターを設置しており、多様な授業に活用することができます。

### ■ 安全を支える設備

#### ・非常通報設備

校内における緊急時の迅速な伝達用設備として、各教室に内線電話を設置しています。

#### ・監視カメラの設置

グラウンド側・正面玄関側に監視カメラを設置しています。受像画面と受信記録を職員室で確認し、日常の安全監視を行います。受信画像は1週間単位でハードディスクに保存されます。また、空間センサーで夜間・休日の警備を行います。

- ・厨房の電化、ドライシステム  
電化厨房、ドライシステムの導入により、衛生管理に対応できる厨房としています。

#### ■ 電気設備概要

- ・受変電設備  
(受電) 高圧6.6 kV 3相3線  
(容量) 一般電灯、一般動力、深夜動力 合計 1, 175 kVA
- ・太陽光発電設備  
単相3線200/100V  
太陽電池モジュール 12.0 kW (250Wパネル×48枚)  
パワーコンディショナー 10.0 kW×1台
- ・TV共聴設備  
民間CATVより放送受信
- ・音響設備  
放送室から音楽等の放送をできるほか、呼出放送については職員室からも放送できます。

#### ■ 空調設備概要

- ・冷房設備  
教室等各所に空冷パッケージエアコンを設置。  
各居室にリモコンスイッチを取り付けたほか、職員室に専用パソコンを設置し、個別運転や温度管理に対応。
- ・暖房設備  
各居室の使用頻度に応じて、蓄熱式電気暖房・エアコンの単独又はその併用運転が可能。  
蓄熱量の制御はグループで行い、運転管理は職員室にて集中管理が可能。
- ・床暖房設備  
図書館に蓄熱式電気床暖房を設置。
- ・換気設備  
冷房を設置してある各部屋は空調換気扇を設置。  
その他便所・厨房フード・屋内運動場・倉庫等は排風機・換気扇を設置。  
自然エネルギーとして地中熱の活用(給気)を建築ピットの有効活用。
- ・自動制御設備  
受水槽・消火水槽・雨水貯留槽の水位制御を実施。  
パッケージエアコン制御・家庭室換気制御・厨房用外気処理エアコン空調換気制御を実施。  
ランニングコスト削減のため、デマンド制御を段階的に実施。

#### ■ 給排水衛生設備概要

- ・給水設備  
給水本管より受水槽に供給し、加圧給水ポンプにて各所に給水。
- ・排水設備  
屋内側は便所污水・雑排水を別々にした分流排水式とし、屋外桧にて合流し下水道へ放流。
- ・給湯設備  
厨房・家庭室・理科室・保健室ユニットシャワー・更衣室ユニットのシャワーはガス給湯器、各所流し台は電気温水器にて給湯。

- ・消火設備

屋内消火栓ポンプを設置し、各所に配置した易操作性屋内消火栓に供給する。

また、各所にABC粉末消火器を設置。

- ・厨房機器設備

電化厨房及び一部ガス厨房、ドライシステムに対応した機器を採用し、防災拠点として対応。

- ・ガス設備

屋外にガスバルク設備を設置し、ガス給湯器・ガス厨房・家庭室・理科室へLPガスを供給。

- ・雨水給水設備

一部校舎の屋根部分の雨水を地下ピットに貯留し、滅菌処理を行い、トイレに利用。

- ・防災設備

災害対策用として、外部にマンホールトイレを設置。

## 5 建設概要

### ■ 全体概要

建設場所：白山市井口町は1番地4

敷地面積：31,350㎡（9,483坪）

### ■ 建物概要

構造：鉄筋コンクリート造（校舎棟）

鉄骨鉄筋コンクリート造（屋内運動場）

階数：2階建て、一部塔屋

建築面積：6,905㎡（既存・附属建物含む）

延床面積：10,438㎡（既存・附属建物含む）

最高高さ：12.94m

### ■ 屋外施設概要

プール：FRP製、25×5コース、低学年用プールを併設

グラウンド：照明設備、200mトラック、芝舗装（グラウンド外周：野芝）、遊具

外部環境：ビオトープ、飼育小屋、砂場、農園など

駐車場：147台

植樹・植栽：既存校舎から樹木の一部を移植

### ■ 工事概要

工事期間：敷地造成（排水施設改修）	平成24年 9月	～	平成25年 3月
敷地造成	平成24年10月	～	平成25年 6月
先行解体（第一体育館）	平成25年 1月	～	平成25年 3月
グラウンド整備	平成25年 2月	～	平成25年 6月
グラウンド照明設備	平成25年 9月	～	平成25年12月
本体	平成25年 6月	～	平成27年 7月
プール	平成27年 1月	～	平成27年 6月
倉庫・車庫	平成27年 2月	～	平成27年 7月
歩道整備	平成26年 1月	～	平成26年 3月
外構その1	平成26年 2月	～	平成26年 3月
外構その2	平成26年12月	～	平成27年 3月
外構その3	平成27年 3月	～	平成27年 8月

設計監理：測量 株式会社明光測量

造成 株式会社国土開発センター

建設 株式会社山岸建築設計事務所

施工業者：敷地造成（排水施設改修） 株式会社久盛建設工業

敷地造成 株式会社日豊技研 鶴来事務所

先行解体（第一体育館） 株式会社山下工務店

グラウンド整備 株式会社日豊技研 鶴来事務所

グラウンド照明設備 株式会社島野電機商会

本体・建築	真柄・兼六・山下特定建設工事共同企業体
本体・電気設備	島野電機・山崎商事特定建設工事共同企業体
本体・空調設備	中部・林特定建設工事共同企業体
本体・給排水衛生設備	荒木・木戸特定建設工事共同企業体
プール	大日土建株式会社 白山営業所
倉庫・車庫	株式会社山下工務店
歩道整備	株式会社日豊技研 鶴来事務所
外構その1	株式会社島野電機商会
外構その2	株式会社北国住研
外構その3	株式会社日豊技研 鶴来事務所

## 6 建物面積概要

### ■ 主な居室の面積

1階

2階

クラスルーム (1室)	76 m <sup>2</sup>	クラスルーム (1室)	76 m <sup>2</sup>
オープンスペース (1棟)	150 m <sup>2</sup>	オープンスペース (1棟)	138 m <sup>2</sup>
職員室	155 m <sup>2</sup>	ランチルーム	259 m <sup>2</sup>
校長室	40 m <sup>2</sup>	図書ラウンジ	107 m <sup>2</sup>
図書館	228 m <sup>2</sup>	理科室1	110 m <sup>2</sup>
メディアラウンジ	103 m <sup>2</sup>	理科室2	111 m <sup>2</sup>
パソコンルーム	99 m <sup>2</sup>	図工室	107 m <sup>2</sup>
特別支援教室1	32 m <sup>2</sup>	家庭室	115 m <sup>2</sup>
特別支援教室2	36 m <sup>2</sup>	音楽室	128 m <sup>2</sup>
特別支援教室3	42 m <sup>2</sup>	会議室	111 m <sup>2</sup>
和室	46 m <sup>2</sup>	多目的室1	39 m <sup>2</sup>
相談室	23 m <sup>2</sup>	多目的室2	76 m <sup>2</sup>
保健室	115 m <sup>2</sup>		
放送室・スタジオ	29 m <sup>2</sup>		
小会議室	27 m <sup>2</sup>		
体育館アリーナ	686 m <sup>2</sup>		
体育館ステージ	59 m <sup>2</sup>		
大階段	143 m <sup>2</sup>		
厨房	243 m <sup>2</sup>		

### ■ 外部面積

グラウンド面積 : 9,793 m<sup>2</sup>

プール水面積 : 350 m<sup>2</sup>

## 7 新校舎建設に係る全体経費

### ■ 経費内訳

(別途エクセルファイル)

■ 財源内訳

(別途エクセルファイル)

単位：千円

区分	経費内訳	経費計
用地取得費	4筆、10,644m <sup>2</sup>	163,637
設計費	土質調査、用地測量	2,581
	造成設計、歩道設計	11,408
	建築設計	78,435
敷地造成工事費		136,920
本体工事費	建築工事	1,944,326
	電気設備工事	245,783
	空調設備工事	153,853
	給排水衛生設備工事	139,948
屋外付帯工事費	先行解体工事	17,063
	グラウンド整備工事	76,230
	グラウンド照明設備工事	23,678
	プール工事	117,396
	倉庫・車庫工事	36,569
	外構工事、歩道工事	141,236
工事監理費		40,678
備品購入費		44,167
合計		3,373,908

単位：千円

区分	支出計	内訳			補助率	備考	
		国庫補助	起債	一般財源			
用地取得費	163,637						
敷地造成工事	136,920						
本体工事 (設計・監理を含む。)	2,617,012	新增築	95,952	2,366,000	185,585	1/2	H25・26
		危険改築	224,084			1/3	H25・26
		不適格改築	106,722			1/3	H25・26
		単独校調理場	19,537			1/2, 1/3	H26
		地域の元気臨時交付金	350,000			10/10	H25
屋外付帯工事	412,172	屋外教育環境 (グラウンド)	15,825			1/3	H24繰越
		学校屋外運動場照明施設 (グラウンド照明)	5,072			1/3	H25
		太陽光発電設備	5,131			1/2	H26
備品購入	44,167						
合計	3,373,908	822,323	2,366,000	185,585			